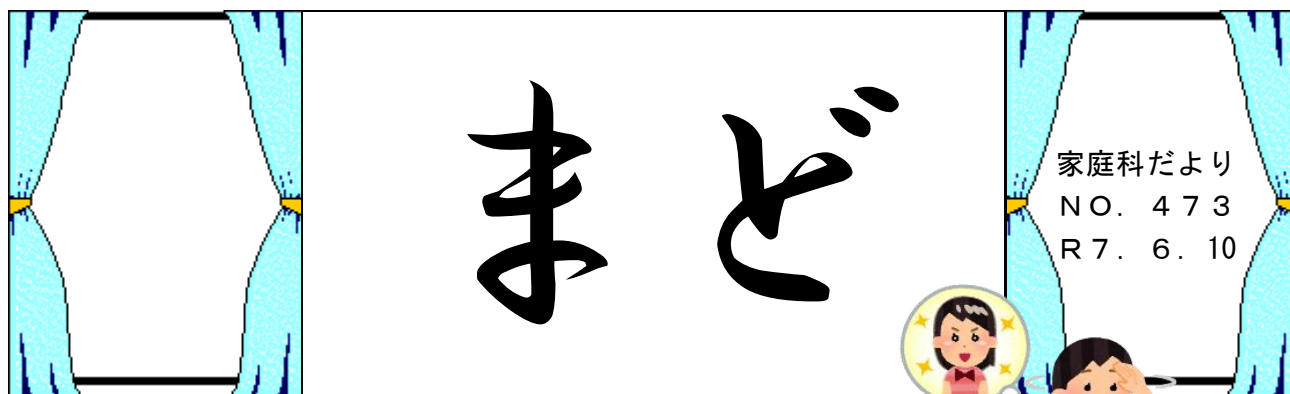




「なりたい自分」を目指した家庭科教育

令和7年度がスタートし、2か月が過ぎました。家庭科の学習はスムーズに進んでいますか？調理実習が終わり、5年生はソーイング、6年生はクリーン作戦へと移り始めていることでしょう。

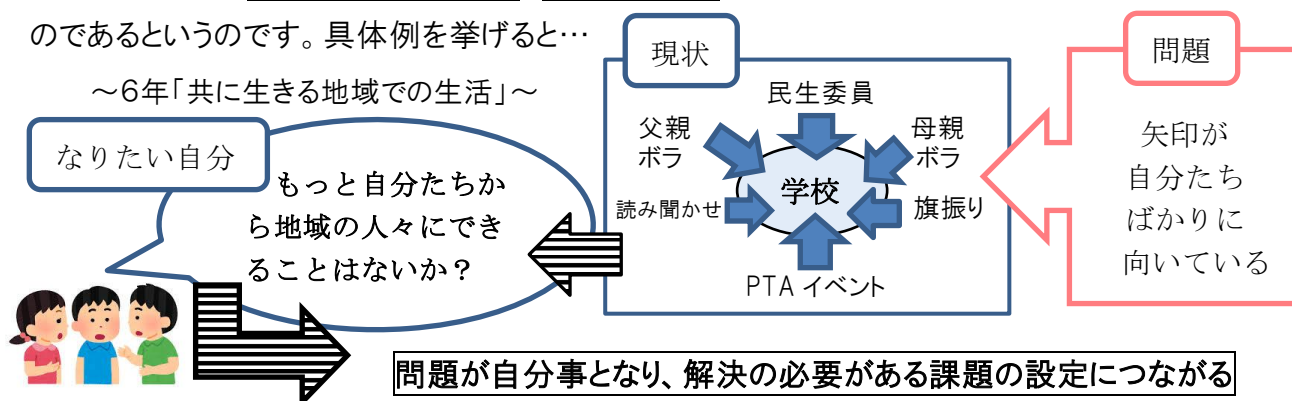
本校の5、6年児童に「家庭科は好き？」と尋ねるとほとんどの子が「好き！」と元気よく答えます。5年生ほど「好き」の割合が高いのは、本校のみならず全国的にも言えるようです。

家庭科の学習が好きですか？（令和5年度 全国調査 全国小学校家庭科研究会）

5年	とても好き	48%	6年	とても好き	31%
	わりと好き	44		わりと好き	54
	あまり好きではない	7		あまり好きではない	13
	好きではない	1		好きではない	2

「とても好き」と「わりと好き」を合わせるとどちらも9割程度いることが分かります。子供たちの「家庭科が好き」という気持ちを継続できるよう、御指導よろしく願いいたします。

先日、文部科学省初等中等教育局教科調査官の熊谷有紀子氏の講話を聞く機会がありました。その中で熊谷氏は「家庭科教育ほど問題解決的な学習にふさわしい教科はない」と述べられていました。子供にとっての現状となりたい自分のギャップを埋めるのが家庭科教育そのものであるということです。具体例を挙げると…



このように、子供にとって切実感のある課題が設定できれば、自ずと「主体的で対話的で深い学び」につながるのではないのでしょうか。

今年度も子供を主語とした問題解決的な家庭科学習が展開できるよう一緒に頑張りましょう。

小学校家庭科研究部顧問校長（浜松市立入野小学校） 坪井 百合子

小学校家庭科研究部 第1回研修会報告

令和7年5月21日（水） 於：可美協働センター
講話「豊かな学びを実現する家庭科の学習指導」

静岡大学教育学部

小清水 貴子教授

昨年度、教科書が新しくなり、今年度は、5・6年生ともに、新しい家庭科の教科書を使用します。その教科書の内容を具体例として、家庭科で身につける資質・能力や家庭科の学びの特徴、そして、小中5年間の学びを見通した視点まで、分かりやすく話していただきました。これからの家庭科の授業の中で大切にしていきたいことをさらに学ぶことができました。



1 家庭科で育成する資質、能力

「どうして家庭科を学ぶのか」という問いに対し、「生活をよりよくしようと工夫する力を身につけるため」とであると、家庭科の学習指導要領の目標をふまえて確認しました。

2 (1) 学びの特徴

家庭科の学びの特徴についてお話いただきました。

①実践的・体験的な活動

目標に「実践的・体験的な活動」が明記されているのは家庭科のみであり、実際に活動することの大切さを改めて学ぶことができました。そして、活動だけで終わらず、その活動を通して、安全・衛生の管理を学んだり、科学的な理解を深めたりすることなどの大切さも知ることができました。

②問題解決的な学習

教科書の内容を例に、どの学習でも「気付く・見付ける」「分かる・できる」「生かす・深める」の3つのループが組み立てられていることを教わりました。自分の成長とともに生活は変わって行く中で、よりよい生活は何かを工夫し続けていくことの大切さを学びました。

③健康で豊かな生活に目を向ける

教科書を見てみると、それぞれの学習のスタートには、「なぜ〇〇なのだろうか」というよさや必要性、理由などが書かれており、ここが出発点であるとともに、授業の最後に還る終着点であることを教わりました。

(2) 小中5年間の学びを見通す

小学校と中学校の家庭科の学びの繋がりについて話していただきました。小学校では主な内容を学び、中学校ではさらに気持ちや場を考えるなど、より生活に生かす学びをしていくことが分かりました。改めて小中の連携の大切さを知りました。

(3) ICT の活用

家庭生活は、一人一人が異なっていることが前提であるため、学習の中でも一つの正解に辿り着くのではなく、多様な価値観を共有し、自己意識を高めることが大切であると学びました。ICTの活用においても、情報を共有しながら個人でまとめたり、テーマごとに代表者が発表し最後に自身のテーマの再考をしたりするなど、個に還る学びの流れが必要であると分かりました。

令和7年度 小学校家庭科研究部組織紹介

顧問校長	坪井 百合子（入野小学校）	小澤 真喜子（気田小学校）
	池野 由香里（花川小学校）	
部長	森田 絵奈（西気賀小学校）	
副部長	高林 美奈（初生小学校）	鈴木 あゆみ（上島小学校）

【部長あいさつ】

今年度より、小学校家庭科部長を務めさせていただくことになりました。「よりよい生活を自ら創り出す子供の育成」をテーマとし、育成する資質・能力を明確化しながら、実践的・体験的な活動を取り入れた指導計画の工夫や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の工夫に重点を置いた研修を進めていきます。先生方と情報交換をし、よりよい研修になるよう努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

部長 森田 絵奈

【編集後記】

今年度、小学校家庭科部の家庭科だより「まど」を担当します。研修会の内容や各学校の実践を紹介していきます。ぜひ校内でも回覧し、家庭科の授業がより充実したものになるように役立てていただけたらと思ひます。よろしくお願ひします。

まど担当 副部長 鈴木あゆみ